

古峰峠～三昧石～横根山～井戸湿原

【期日天候】 2015 年 6 月 6 日(土), 霧(一時霧雨)

【二万五千分の一地図】 古峰原

【メンバー】 C.L.: 高村文夫, S.L.: 楠 恒男, 他 5 名 [日光の自然を守る会会員、他]

【ルート・タイム】 古峰峠—三昧石—方塞山—横根山—井戸湿原—象ノ鼻—横根山ハイランド・ロッジ

8:35(発) 9:30 10:00 11:07～11:40 12:05 12:35～13:00 13:20(着)

【記 録】 登山かぬまと日光の自然を守る会との交流を兼ねて実施する。古峯神社前の駐車場に集合し、3 台の車で出発する。空は全面の曇り空、尾根の方には霧が掛っているので好天は期待できないが、雨の心配はなさそうだ。2009 年秋に整備された県道・鹿沼足尾線を進み、横根山ハイランドロッジ前に 2 台を留め置き、古峰峠に戻って、9 時 35 分にスタートする。

乾燥化・樹林化進む横根湿原を右に見ながら平坦地を行き、一の鳥居を潜る辺りからミズナラなどの樹林帯の中を緩く行くようになる。後方にいる横田・山下の両名から、周りの植物解説が始まり、春から夏への端境期のため、咲く花は少ないと言う。天狗ノ庭で小休止、以前は無数の岩が露出し、眺めが良かったが…。尤も今日は霧の中を歩いているのでどこを見ても“五里霧中”だ。時々レンゲツツジの花が見られるので日本庭園の中にあるような気がする。やがて、三昧石の広場に出て本日第一の目的を達成したことに安堵する。

10 分間の小休止後、方塞山の方へ足を進める。歩き難い丸太の階段を避けるような格好で下り続け、鞍部を越した後は緩く登って方塞山に着く。我々と反対方向から来たパーティと入れ替わるように牧場の一望出来る地点まで行くが、何も見えない。只、観測所建屋脇のレンゲツツジは、今を盛りとばかりに咲いていたので“良”としたい。

以降は右側にある牧場の柵に沿ってアップダウンを繰り返し、11 時 07 分、横根山々頂に到着する。霧のため展望はなく、東

屋に入って昼食休憩をとる。11 時半頃には混雑してきたのでここが潮時と判断し、標識に従って井戸湿原の方に足を向ける。

シカ侵入防止ネットの扉を開け閉めして井戸湿原の圏内に入る。古びた山小屋・湿原荘は既に取り壊され、跡地には木製のベンチがある。ここも霧が深いので 100m 先が見えない。残念無念!!

整備された木道を進むと、朱色のレンゲツツジと淡い緑色をしたヤマドリゼンマイの若芽が沈んだ心を和らげてくれる。湿原南端の看板を背に、今日初めての記念写真を撮る。

象の鼻へ向かう頃、樹林越しの天空に明るい兆しが見えてきた。屋根の吹き飛んだ東屋前で居合わせた人にシャッターを押して貰って象ノ鼻を後にする。前日光ハイランドロッジ前に着いて、予定したハイキング計画を完遂する。帰路には「深山巴の宿(ジントモエシキ)」に立寄り、静寂な森の中に身を置いて神域の畏怖感を肌で感じる。峠を後にし、古峯神社前の茶店で反省会、話題は尽きないが、15 時を以て解散する。

象ノ鼻で記念撮影

